

「所以」を用いる中国語原文とその日本語訳

中国語原文	日本語訳文
插队的故事 (原文)	遙かなる大地 (訳文)
张富贵就是前大队书记，在朝鲜打过仗，在国内也打过，头上一块很大的伤疤不长头发，所以总戴着帽子。 他之所以被降为第二把手，是因为他反对大队分红，主张小队核算。	張富貴は以前生産大隊の書記を務めていた。朝鮮や国内で戦った経験があり、頭に大きな傷跡があって髪の毛が生えてこないのでも帽子を被っていた。 彼が副に降格になったのは、生産大隊単位の利益配分に対して、生産小隊を採算単位とすることを主張したからである。
大家都觉得站到斗争前列去，坚决支持大队分红，要与张富贵斗争，但张富贵毕竟是同志，所以还应该把矛头指向真正的阶级敌人。	闘争の先頭に立って生産大隊単位の利益配分を断固として支持し、張富貴と闘うべきだが、張富貴は結局のところ同志なので矛先を本当の階級敵に向けておきたいとみんな思った。
她说她本也想买一辆旧汽车，可她不敢开得太快，那样在高速公路上开就要被罚款，所以没买。 我的右边是王建军的姐姐，所以我的右半拉身子总绷着。左边的李卓还老说我挤了他。	彼女の言うにはもともと中古車を一台買うつもりだったが、スピードを出すのが怖く、高速道路でそんなことをしていたら罰金を取られるので買わなかったとか。 右側が王建軍の姉なので、私はずっと右半身を固くしたままだった。左側の李卓は押しつけてくるなど私に文句ばかりつけていた。
关于女人 (原文)	女の人について (訳文)
一因为我自己在北方长大的南方人，所以我希望对方不是“北人南相”——此条可以商量。	一、南方生まれで北方育ちの私としては、相手があべこべの「北方生まれの南方育ち」では困る。——この点については話し合いの余地あり。
二因为我是学文学的，所以希望对方至少能够欣赏文艺。	二、文学畑なので、相手は文学や演劇については趣味のあるほうがいい。
三因为我是将近四十岁的人，所以希望对方不在二十五岁以下。	三、四十に手が届くので、相手は二十五歳以下でないこと。
四因为我自己是个瘦子，所以希望对方不是一个胖子。	四、こちらが痩せているので、太っちゃでないこと。
五因为我自己不擦润面油、司丹康，所以希望对方也不浓施脂粉，厚抹口红。	五、クリームもボマードもつけない主義なので、厚化粧はひかえてほしい。
六因为我自己从未穿过西装，所以希望对方也不穿着洋服——东方女子穿西服，十个有九个半难看！	六、背広を着たことがないので、洋服はしないでほしい。——東洋の女がこちらの服を着たって、まるで様になりやしない。
七因为我几个外国朋友，所以希望对方懂得几句外国语言。	七、外国人の友たちがいるから、ちょっとは外国のことがわかるほうがいい。
八因为我自己好客，所以希望对方不是一个见了生人说不出话的女子。	八、客好きなので、初対面の人にもじもじするようでは困る。
九因为我很择客，所以希望对方也不招致许多无聊的男女朋友，哼哼洋歌，嚼嚼瓜子，把橘子皮扔得满地。	九、客を選ぶたちなので、くだらない連中を呼び集めて、外国の歌を鼻歌したり、瓜子を嚙んだり、ミカンの皮を散らかしたりしないこと。
十因为我颇有洁癖，所以希望对方也相当的整齐清洁——至少不会翻乱我的书籍，弄脏我的衣冠。	十、几帳面な性格だから、整理整頓を心がけてほしい。——少なくとも私の本をひっくりかえしたり、着物を汚したりしてほしくない。
十一因为我怕香花，所以希望对方不戴白玉兰，不在屋子里插些丁香、真珠梅之类。	十一、匂いのきつい花は嫌いだ。髪に白玉蘭〔白木蓮の花〕を挿したりしないでくれ。部屋に丁香〔ライラック〕や真珠梅などを飾らないこと。
十二因为我喜欢雅致，所以希望对方不穿浓艳及颜色不调和的衣服，我总忘不了黄莘田先生的两句诗：“颜色上伊身便好，带些黯淡大家风。”	十二、上品な色が好きだから、げげげしい色の服や、似合わない色合いの服は着ないでほしい。黄■田氏の詩句は忘れられない。+++「顔色上伊身便好、帯些黯淡大家風」
十四因为我喜欢旅行，所以希望对方也不以旅行为苦。	十四、旅行が好きなので、相手も旅行をいやがらないこと。
十五因为我喜欢海，所以希望对方也爱海水，不怕海风。	十五、海が好きなので、相手も海水浴や潮風をいやがらないこと。
十六因为我喜欢山居，所以希望对方不怕山居的寂寞。	十六、山で過ごすのが好きなので、相手も山はさびしいといわないこと。
十七因为我喜听京戏——虽然并不常去，所以希望对方不把国剧看得一钱不值。	十七、入りびたるほどではないが、京劇が好きなので、一文の値打ちもないと思わないこと。
十九因为我自觉是个“每逢大事有静气”的汉子，（看见或摸着个把臭虫时除外，但此不是大事），所以希望对方遇有小惊小怕时，不作电影明星式的捧高声叫。	十九、「大事に当たって動じない男子」であると自負している（床虱を見つけたりさぐり当てたりしたときは、話は別だ。ただし、これは「大事」とはいえまい）。先方もつまらないことで映画スターのように胸に手をあてて金切り声を上げることはしないでほしい。
二十三因为我在北方长大，能吃大葱大蒜，所以希望对方虽不与我同嗜，至少也不厌恶这种气味。	二十三、北方で育ったので、ネギやニンニクを食べる。同じ好みでなくても、匂いをいやがらないでほしい。
二十四因为我喜听音乐，所以希望对方不在音乐会场内，高声谈笑或睡觉。	二十四、音楽が好きなので、コンサートで大声で話したり、居眠りをしないこと。
二十五因为我喜欢生物，所以希望对方不反对我养狗或养鸽。	二十五、動物が好きなので、犬や鳥を飼うのに反対しないこと。
我从小住在偏僻的乡村里，没有机会进小学，所以只在家塾里读书，因为塾师自己的算学程度，也只到此为止。 /我说：“这事我们也讨论过，正因为他要出国，我又不能常在家，而母亲身边又必须有一个得力的人，所以只好委屈你一下。”	幼いとき、私は辺鄙な田舎に住んでいたから、近くに小学校がなく、家塾で学んだだけだった。 「それは相談した。外国へいくから、この話になったんだ、ぼくはいつも家にいないし、お母さんにはそばにいて手伝ってくれる人が必要だ。きみに我慢してもらうしかない」
我的娘，有气喘的病，不服北方的水土，所以我们搬到北平的时候，她没有跟去。	乳母は喘息もちだった。北方の水や風は病気になるので、私たちが北京に引っ越したとき、ついてこなかった。
她挑房客也很苛，所以她那客房，常常空着，……”	下宿人を選ぶ目は厳しいからあの部屋は空いていることが多いんだ。……」
活动变人形 (原文)	応報 (訳文)
娶媳靠的是媒人的说，嫁男人的要义在于寻找一个好人，所以叫“说”叫“寻”，正确无疑。	嫁をめとるには仲人の「口利き」の世話になり、嫁入りするには何より良い婿殿を探すことだから、「口利き」、「婿探し」という表現ではある。
昨天晚上他在一个不洁的地方，所以他一早就来洗了澡。	昨夜、不潔な場所にいたので、朝早く洗った。
而这种作贱、这种对人身、对人的肉体的蔑视、敌视、压制和自惭形秽的心态，这种心态的所以发生，很大程度上是由于缺乏洗澡的设备和习惯，使身体常常处于一种令自我羞愧的状态。所以他他要洗澡。	だが人体、肉体にたいするこのような卑下、敵視、抑圧、引け目を覚める心理状態、その起こる原因は、多くが入浴設備とその習慣の欠如によって、身体が恥ずべき状態におかれていることにある。だから彼は入浴する。
他与外国人打交道后，痛感到中国人指甲之脏，所以他自己每次剪指甲都全神贯注，剪得指甲短到了狠、苦的程度。	外国人と交際を始めてから、中国人の爪が長く汚いことを痛感したのである。だから爪切にはいつも全神経を集中し、できるだけ短く切った。
象是一本书，全是画，头、上身、下身三部分，都可以独立翻动，这样，排列组合，可以组成无数个不同的人形图案，所以叫做“活动变人形”。	それは全ページに人間の全身像が描いてあり、頭・胴体・下肢の三つのパーツに切れていて、それぞれを自由にめくって組み替えることができる。さまざまな人形の絵を無数に組み合わせることで「組み替え人形絵本」である。
她们可能比她俊俏。她不俊俏，所以她更感激少华对她的恩爱。	きっと静珍より美人にちがいない。美人でない静珍は、少華の愛がいっそう身にしみた。
说是欧洲人从来不随地吐痰，大家讲卫生，所以欧洲国家日益先进、强大……	ヨーロッパ人は日まじに進歩し強大になっているんだ……。
缠足更容易长脚垫和鸡眼，所以拿到张、李二人送来的钱以后“大奶奶”一口气买了两把修脚刀，而把原来的修脚刀给了倪藻去与同伴玩刀子。 姜赵氏由于是缠足，老年后整天长鸡眼长脚垫，所以她有时一天洗两、三次脚。	纏足はタコや魚の目ができやすい。小作頭が届けてくれた金で「大奥様」は思い切った足の手入れ用のナイフを二本買い求め、古いのは倪藻にゲーム用にと与えた。 纏足の足は年を重ねるほど豆やタコができ易く、日に二、三回は足を洗うのだ。
红高粱 (原文)	赤い高粱 (訳文)
///我听说奶奶会吸大烟但不上瘾，所以始终面如桃花，神清气爽。	///祖母は阿片を吸っていたが中毒にはならなかったから、いつも顔色はつやつやしており、さわやかな気分であいられたのだそう。
故乡的黑土本来就是出奇的肥沃，所以物产丰饶，人种优良， 这些年轻力壮的男子，为别人抬去洞房里的牺牲，心里一定不是滋味，所以他们要折腾新娘。 但那时奶奶是单家的明媒正娶的媳妇，爷爷与她总归是桑间濮上之合，带着相当程度的随意性偶然性不稳定性，况且我父亲也没落土，所以，写到那时候的事，我还是称他余占鳌更为准确。	故郷の黒土は不思議なほど肥沃だから、物産は豊かで、すぐれた人物が出た。 ///若く、たくましい男たちが、他人のために新婚初夜の生贄を担いでいくのだ。おもしろがるはずがない。そこで、かれらは花嫁をいたぶるのだ。 だが、そのとき祖母は単家の正式の嫁であり、祖父と彼女との結びつきはかなり気ままで、場あつたりの安定を欠く淫らな野合ではなかった。しかもわたしの父はまだこの世に生まれていなかった。だから、この時期のことを書く場合に、わたしはかれを余占鳌と呼ぶのがやはり正しいだろう。
金光大道 (原文)	輝ける道 (訳文)
可是土改运动的后期，据说，他没有“人命”，已经认罪，当年在谷新民县长被日本鬼子抓住的时候，他受谷家的长辈人委托，出面保过谷新民，立点功，所以没有判刑，	しかし、土地改革の終り頃になって、幾つかの理由で有罪にはならず、村へ返えされてきた。+++「口まがり」は、人命だけは奪っていないこと、すでに罪を認めていること、そして往年、谷新民県長が日本兵に捕縛されたとき、谷家の長老に頼まれ、かれが保証人として谷新民をうけだし、多少の功績があることなどによって、情状酌量されたのだ。

中国語原文	日本語訳文
朱铁汉明知自己不是受秦富欢迎的人物，所以他既没喊叫，也不敲打，就悄悄地走进那长着枯草的土门楼里，扒着破门板的缝子，朝里边看看，打算看准了院子里的人再喊叫，不让他们躲藏起来。	朱鉄漢は自分が秦富にとって歓迎されざる人物であることを十分にわきまえていたの で、声もあげず、門をたたきませず、音をたてないようにこっそりと、上に枯れ草のある汚い門楼にはいり、門の破れ目にとりついて、中の様子をうかがった。居留守をつかわないように、庭にいるのを確かめてから声をかけようと思った。
他的小儿子从同学那儿找来两张电影广告当年画，都让他给糊了窗户洞，所以墙上也是空的。	息子がせっく同級生のところからもらってきた二枚の映画ポスターも年画（正月用の壁の貼り絵）代りにされ、窓の穴つぶさぎになっている。
/// 他拍着高大泉那壮实的肩头说：“我相信你会搞明白，所以没有再解释；你今天的行动，就证明了我的考虑是对的。你……”	///かれは高大泉のがつしした肩をたたいた。+++「君はいずれわかってくれると 思ってたから、説明しなかったんだ。君のきょうの行動は、わたしの考えが合っていた ことを証明したよ。・・・」
高大泉早有考虑，正合心意，所以热情地支持他，立刻就行动。	高大泉もそれを考えていたので、すっかり呼吸が合い、ただちに賛同し行動に移した。
一个月之前，当冯少怀两口子说尽好话撵掇她跟高二林搞对象的时候，她由于对前夫的怨恨而产生对一般男性的偏见，所以并没有抱太大的希望和信心。	一月前、馮少懐夫婦がさんざんいいことをならべて、高二林とつきあうようそそのかしたとき、前夫に対するうらみからくる男性一般への偏見のため、彼女はあまり大きな望みは抱かなかったし、自信もなかった。
他希望把工作搞得再轰轰烈烈一些，再痛快一些，所以，他急着要促成芳草地党小组会的召开。	かれは活動をもっとはなばなく、もっとスカッとさせたくて、そのため、芳草地党小組会議を早く開こうとあせっていた。
他怕女人醒来找，怕孩子哭闹，又得放下活计，所以既要用大劲，又要加快速度。	かれは妻が目をさましたり、子どもが泣いたりして、いつ仕事を放りださなければならなくなるか気が気でないので、全力をだし、スピードをあげた。
据说，这家伙虽然在小镇上落户安家，北京上海都有股份买卖，一年到头四处奔走，所以常赶集上店的人也很少见到他。	この男は、天門鎮のような小さな町に住みついているが、北京や上海にも出資している店があり、年中あちこち駆けまわっているで、市のたつたびに天門鎮に出かける者でもめつたに姿を見かけないという話だ。
别人也就尊重他的习惯，挨肩擦过，互不理睬，所以他完全能够不浪费一点时间，保持原有速度，照直走下去。	その習慣を尊重し、すれちがってもそしらぬ風をしている。それでかれは時間を浪費せず初めに同じ早さで真直に歩いて行けた。
因为逆着风，邓久宽耳朵有占聋，又加上他大声吆喝牲口，所以没有听到高大泉的喊声。	風が逆な上に鄧久寛は耳が少し遠いし、大声でロバを追っているで高大泉の叫びもきこなかった。
秦文庆同意这个看法，所以对朱铁汉并不抱什么希望。	秦文慶も同じ考えだった。だから鉄漢をあまり当てにしていない。
大泉哥说，我们的情况，上级领导知道了，一定能给我们指出个好办法，所以有希望，有奔头，忙得痛快，忙得有意义。	大泉さんも言ってたよ。おれたちの事を上部が知ったら、いいやり方を教えてくれるにちげえねえ、だから先行き明かるいし張り合いもある、だからどんなに忙しくたって平気だし、有意義だってな。……」
冯少怀认为，张金发不仅跟高大泉有矛盾，而且有权有手段，所以一定要靠他。	張金発は高大泉との間に葛藤があり、しかも権力も握っているし、やり方も心得ている。だからどうしてもかれに頼らなければならない、と馮少懐は考えた。
因为是掐着钟点，看着火候来的，所以福水一到，大渠就成了！”	ちょうどいい頃合に、いい話があったんで、福水いって大渠なるつかことになったな」
如今他刚来三天，要熟悉整个区的全面情况，要着手解决几个革命和生产的关键问题，而且对张金发也没有较多的了解，所以很难谈得很深。	いまは着任してからまだ三日で、区全体のあらゆる状況を知っておかなければならない上に、革命と生産のいくつかの重要問題が控えており、しかも張金発についても多くは知らないで、突っ込んだ話をするのは難しかった。
他知道了一些阶级斗争的规律，看到了高二林变化的原因，尤其猜到了这个人今后的趋向，所以他对兄弟是恼怒的，是怨恨的。	かれは階級闘争の法則をいくらか知っていたし、二林の変貌の理由もわかっていて、二林がこれからどうなっていくかほ見当もついた。だから、そんな弟が腹立たしく、うらめしかった。
家（原文）	家（訳文）
“今天下午朱先生教我们练习演戏，所以到这个时候才回来，”党民答道。	「今日午後は授業がなかったんですけど、朱先生が芝居の稽古をしてくれたんでこんなに遅くなったんですよ」党民が答えた。
琴和党民同年，只是比他小几个月，所以叫他做表哥。	琴と党民とは同年であるが、琴の方が何ヵ月か若いので表哥と呼んでいる。
“我们学堂上个礼拜就放假了。说是经费缺少，所以早点放学，”琴回答道，她已经放下了饭碗。	「わたしたちの方は先週から休みよ。経費が足りないから早く休みにしたんですって」琴はもう茶碗を置いていた。
……据说校长跟督军有点关系，所以拿钱更方便一点，”	……校長と督軍と関係があるんで、金をもらうのに都合がいいんだって話さ」
“是的！是的！”党慧愤恨地答道。“我们的祖父是绅士，我们的父亲是绅士，所以我们也应该是绅士吗？”他闭了口，似乎等着哥哥的回答。	「そうですね」党慧は怒ったようにつぶけた。「僕らの祖父も紳士だった、僕らの父も紳士だった。だから僕らも紳士にならなきゃいけないんでしょ？」彼は口をつぐんで兄の答えを待っている様子だった。
可是不幸在他们中间立了一堵无形的高墙，就是这个绅士的家庭，它使他不能够得到他所需要的东西，所以他更恨它。	しかし不幸にも彼らの間には眼に見えない高い垣がある。それはこの紳士の家庭であった。それが彼の欲するものを阻止している。だから彼はこの紳士の家庭がなおさらにくいのだ。
妈爱我，所以肯把责任担在自己的肩上，不顾一般亲戚的闲言闲语。	「母さんはわたしを愛しているわ。だから責任を自分で背負って、親戚のもの笑いなにか気にかけないんだわ。
她要享受它们，不肯轻易把它们放过，所以她不愿意早睡。	彼女はこの時間を十分たのしみたい。この時間をそうたやすく逃がしてしまいたくなくなったのである。だから彼女ははやく眠りたくない。
“……我现在身体不大好，想在家休养，要你来帮我料理家事，所以你至少不掉一个内助。……”	「……今では年もとつたし、休養したいと思うから、おまえわたしの手助けをして家のことを管理してくれ。そういうわけでおまえも内助がなければならない。……」
“我着了凉了几天病，所以好多天没有来看你们。……”	「僕風邪ひきましてね、この二三日少し具合がわるかったんです。だからずっと来られませんでしたけど……」
他唯恐别人不相信这些话，所以特别用力地说出来。	彼は人がこの言葉を信じてくれないのではないかと力を入れてしゃべるのだった。
这是星期日，学生不容易召集，有些学校已经放了寒假，所以到的不是全体，人数比实数差了许多，	日曜日のせいで、学生は召集しにくかったし、それにいくつかの学校ではもう冬の休暇になっていたんで、全部が集まったわけではなく、人数は実数にそうとう隔りがあった。
“各位同学，督座早已回府去了，所以由兄弟出来代见，劳各位等了许久，兄弟非常抱歉。”	「諸君、督軍がお帰りのになったあとなので、私が替ってお目にかかります。長いことお待ちさせて、大変に恐縮いたしております」
祖父原也是名士，印过两卷《通斋诗集》送朋友，又喜欢收藏书画，所以在这一点上未能免俗。	祖父ももとより名士であり、何冊も詩集を出版し、また書画を賞玩するのだから、その点からいってもこうした風流事を省略することはできないのだ。
我怕鸣凤选的不如意，所以总是我自家来折。”她说了又叫海儿给我请安。	鳴鳳は気に入った枝を選ぶわけにゆきませんもの。だから自分で折りに来ましたのよ」彼女はそういつてから、海児に僕の名を呼ばせて挨拶させる。
嫂嫂底象棋虽然比大哥下得好，但是不及我，所以我连赢了地三局。	嫂さんは大哥よりも上手だったが、僕の敵ではない。つづけて三度も負かしたが、
“……况且这是大哥要你画的，所以画出来特别好，”	「ましてこれは大哥があなたに注文したんだから、とくにできがいいわけでしょうね」
三弟，你晓得那时候紧要的信函公文都是专差送的，到一个驿站就要换一次马，还有别的准备，所以远远地就吹起哨子。	ご存じでしょう。その当時重要な手紙や公文書はみんな、その特別に派遣された人が持って来ましたわね。駅々で馬を換えて、いろいろ準備をととのえる。だから遠くから口笛を吹いて、用意するように伝えるんですね。
党新的孩子海臣是上了桌子的，老太爷希望在这里吃午饭的应当有四代人，所以叫党新夫妇把海臣也带上桌子来，就让他坐在瑞环的怀里随便吃一点菜，坐一会儿。	老太爺が年飯を食べるのは四代を包括しなければという希望だったから、党新夫婦に海臣を連れて来させたのである。海臣は瑞環の懷に抱かれてしばらくの間食べ散らかしていた。
他们知道她的脾气，又知道她真心爱护他们，所以兄弟两个都喜欢她。	彼らは彼女の性質を知っているし、彼女が心から彼らを愛しているのを知っているで、別になんとも思わなかった。
我想把我的脑筋弄得糊涂一点，所以我近来常常吃酒。	俺は馬鹿になろうと思って、近頃はよく酒をのむんだ。……」
然后轮到党新一代人，先由党新领着五个兄弟叩了头，他们叩得最多，一共是九个，像这样地行礼，每年只有一次，所以大家并不熟练，	それから党新一代の番になる。党新が五人の弟を引率して叩頭する。彼らはもっとも多く、九回頭を下げなければならない。こうした拜礼は年一回なので、みんな慣れていない。
他的要求并不大，不过是几角钱，而且是在主人们高兴的时候，所以他总是达到了他的目的。	彼の要求する金は決して多くはない。ほんの二三十銭のことである。それも主人たちのご機嫌のいい時を狙ってのことだ。だからたいして彼はその目的を達する。
“你近几年来境遇不好，所以动辄生悲。……”	「あなたは近ごろずっと境遇がわるかったから、意気阻喪しちゃって、……」
“……世界本来只有一个，你从悲观方面看，所以多愁善感；琴妹从乐观方面看，便觉得一切都可为了。”	「……実際は世界は一つきりなんだ。悲観的にみるから感傷に流れるんだが、琴妹のように楽観的に見れば、すべてに張り合いが出てくるんですよ」
“我不过在街上散散步。一个人在家里闷得慌，所以出来走走。……”	「散歩してるんですよ。一人で家にも退屈だもんだから出て来たんですが、……」
一年里只有这一刻她们才在街上抛头露面的机会，所以大家带着好奇的眼光，把朦胧中的静僻的街道饱看了一会。	なぜなら一年の中でこのいつときだけ、彼女たちは街中に頭も顔も丸出しで出られるのだ。だからみな好奇の眼をみはり、ひっそりと朝露にけむって横たわっている街道を飽かず眺めて、何から何まで珍しく、おもしろい。

中国語原文	日本語訳文
她跟琴一样，渴望着党民们的学校开放女禁，所以愿意跟他们认识。	彼女も琴と同様、党民たちの学校が女性にも解放されることを希望している一人で、 それだから 彼らとも近づきになりたかったのだ。
聪慧故意表示自己胆大，不怕鬼，所以特地留在后面，伴着鸣凤走。	聪慧はわざと大胆に見せようと、とくにうしろから、鳴鳳について歩いてしたが、急にかたわらの竹藪へ飛びこんだ。
继母又告诉他们：昨天晚上三婶和淑英也睡在这里，她们屋后的天井里落了一个炮弹，把墙打坏了一个角，所以她们马上搬了出来。	///また継母のいうには、昨夜は三■も淑英もここでねだが、彼女たちの部屋裏の裏庭に砲弾が落ちて築地壁の一角が崩れたので、早速に引越して来たのだそう。
高家的厨子到菜市去买过菜。但是城門已经关了两天，乡下人不能挑菜进城，菜场里并没有什么菜卖，所以厨子即使用了他的全副本领，大家仍然觉得饭桌上没有可口的饮食。	高家のコックは市場へ買物に行ってきたが、城門がもう二日も閉っていて、田舎の者が野菜などかついで城内へは行って来られないので、市場には何も売っておらず、コックがどんなに腕を見せたとて、この一日の飲食物は乏しさを免れなかったのである。
这是督军宣布下野的布告，督军很谦逊地说自己“德不足以服人，才不足以济变”，所以才酿成这次的战争，以致“苦我将士，劳我人民”，现在决意交出政权，实行下野，免得再“延长战争，糜烂地方”。	それは督軍の下野を告げる布告であった。かの督軍はさきわめて謙遜な言葉で、自分は「徳以て人を服するに足らず、才以て変を濟うに足らず それゆえ この度の戦争を醸し「我が将士を苦しめ、我が人民を勞し」だのだから、現在意を決して政權を移譲し下野を実行して、「戦争を延長し、地方を糜爛せしめる」ことから免れたいというのである。
她们的住房并没有兵进去，所以东西一点也没有损失。	彼女たちの部屋には兵隊はいらなかったから、品物には別案はない。
最初四太太的父亲王老太爷派人来接她回去，说外面谣言很多，今天晚上恐怕会发生抢劫的事情，高家是北门一带的首富，不免要首当其冲，所以还是早早避开的好。	事の起りは、四太太の実家である王家から迎えが来て、彼女を連れて帰るというのである。それは外に流言蜚語が飛んで、今夜はおそらく掠奪が起る。高家は北門第一の富豪だから、難は免れまい、だから早々に避難した方がいいというわけだ。
///事实上正因为他从没有见过，所以这张脸给了他一个很深的印象，而且在他的眼里变成不可抗拒的了。	事実彼がまだ見たことがなかったから、こんな深い印象を与え、臉の裏で、大きな魅力になったのである。
有两三个同学很想把辫子剪去，但是又怕发生别的问题，所以终于没有剪。	二三人のお友達はね、おさげ髪をきってしまおうとしたんだけど、また別の問題を起すことがこわいのね。 だから とうとうきらないよ。
钱伯母总愿我答应这件亲事，不过我想你一定不愿意，所以索性谢绝了。	錢伯母さんはわたしにこの結婚を承諾するように勧めたんだけど、わたしはおまえがきつと不承知だろうと思つて、思いきつてお断りしたんだよ。
她因为相信他的爱，又因为爱他，所以跑到他这里来要求他遵守他的诺言，要求他保护她，要求他把她从冯乐山的手里救出来。	彼女は彼の愛を信ずればこそ、彼を愛すればこそ、彼のもとへ駆けこんだのだ。彼が彼の約束を守り、彼女を護つてくれ、彼女をあつて淫らな馮楽山の手中から救い出してやることを信じていたのだ。
轮椅上的梦 (原文)	車椅子の上の夢 (訳文)
这段时间我和妈妈有些非常重要的事情，一时恐怕脱不开身，所以去治病的事看来需要等一段时间……	「今、パパとママはとても大切な用事があって、しばらく手ははなせない。 だから 病気を看てもらいに行くのは、たぶん、もう少し先になると思う……
在这件事上，维娜站在了革命的一边，她立了功，所以我们发展她加入了红卫兵。”	この件で維娜は革命の側に立つことを証明したから、あたしたちは維娜を紅衛兵に迎えることに決めたわけ」
呐喊 (原文)	呐喊 (訳文)
在我自己，本以为现在是已经并非一个切迫而不能已于言的人了，但或者也还未能忘怀于当日自己的寂寞的悲哀罢，所以有时候仍不免呐喊几声，	私自身のばあい、いまではもう、何か発言せすにはおられないといった人間ではないと思つている。だが、まだあのころの自分の寂寞の悲しみが忘れきれないのであるか、時としてつい呐喊の声をあげたくなる。
只有孔乙己到店，才可以笑几声，所以至今还记得。	ただ、孔乙己が店にきたときだけは、笑い声が出た。 それで 、いまでもおぼえている。
一家便是间壁的单四嫂子，他自从前年守了寡，便须专靠着自己的一双手纺出绵纱来，养活他自己和他三岁的儿子，所以睡的也迟。	もう一軒は、壁どりの単四嫂子の家だ。彼女は一昨年から後家をとおして、もっぱら自分の二つの手で綿糸を紡いで、彼女自身と三歳になる男の子を養っていた。 それで 、寝るのが遅いのである。
单四嫂子在这时候，虽然很希望降下一员天将，助他一臂之力，却不愿是阿五。但阿五有些侠气，无论如何，总是偏要帮忙，所以推让了一会，终于得了许可了。	彼女が顔をあげてみると、案のじょう、青面の阿五で、睡たげな目をとろんとさせて、彼女の後からついてくる。単四嫂子はそのとき、天将が降りてきて、彼女に一臂の力を貸してくれないかと、それこそワラをもつかむ気持だったが、阿五がその相手では、まっぴらだった。が、阿五のほうはなかなか俠氣をみせて、何がどうあろうと、是が非でも手つどうとて承知しない。
因为鲁镇还有些古风，所以不上一更，便都回家睡觉了。	魯鎮にはまだ昔風のところが残っていて、七時にならぬうちに、みな家に帰って寝てしまふのである。
车夫已经让开道，但伊的破棉背心没有上扣，微风吹着，向外展开，所以终于兜着车把。	車夫はとつさに避けたが、彼女の破れた木綿の袖なしにはボタンが掛けてなかった ため 、それが微風にあらわれてひろがり、カジ棒にかぶさったわけだ。
“据刑法看来，最要紧的自然是脑袋，所以大辟是上刑；次要便是生殖器了，所以宫刑和幽闭也是一件吓人的罚；	刑法から見て、いちばん大切なのはむろん頭だった。 だから 大辟(死刑)が極刑だった。その次は生殖器だね。 だから 宮刑(陰茎を切る刑)や幽閉(子宮を閉塞する刑)もおそろしい罰だった。
但夏天吃饭不点灯，却还守着农家习惯，所以回家太迟，是该骂的。	ただ、夏は飯を食うのに灯をつけないう点では、なお農家の習慣を守つたので、帰りがあまり遅いと、こうしてどなたでも仕方がないのである。
七斤嫂记得，两年前七斤喝醉了酒，曾经骂过赵七爷是“贱胎”，所以这时便立刻直觉到七斤的危险，心坎里突突地发起跳来。	七斤嫂は、二年前に七斤が酒に酔って、趙七爺のことを「馬の骨」と罵つたのをおぼえている。 だから 、このときとつさに、七斤の危険を直感して、ミソオチのあたりがドキリとなったのである。
七斤既然犯了皇法，想起他往常对人谈论城中的新闻的时候，就不该含着长烟管显出那般骄傲模样，所以对七斤的犯法，也觉得有些畅快。	七斤が天子さまのおきてを犯したとなれば、これまで彼が、城内のニュースを人に話して聞かせるときに、長キセルなんかくわえて、威張りかえつていたのは怪しからぬ振舞といわねばならない。 だから 、七斤がおきてを犯したことに対して、ざまあ見るといった気分であった。
我们多年聚族而居的老屋，已经公同卖给别姓了，交屋的期限，只在本年，所以必须赶在正月初一以前，永别了熟识的老屋，而且远离了熟识的故乡，搬到我在谋食的异地去。	私たちが長年一族で同居してきた古い家は、すでに人手にわたすことに相談がまわって、明けわたしの期限は今年いっぱいになっていた。 だから 、どうしても旧暦の元日に前に、住みなれた古い家に別れを告げ、住みなれた故郷を遠くあとにして、私が現在暮らしをたてている他郷へ引越さねばならない。
几房的本家大约已经搬走了，所以很寂靜。	いっしょに住んでいた親戚たちは、ほとんどみな引越をすませたらしく、ひっそり閑としていた。
这祭祀，说是三十多年才能轮到一回，所以很郑重；	その祭りの当番は、三十何年目かに一度まわってくるとかで、非常に厳肅なものだった。
他正在厨房里，紫色的圆脸，头戴一顶小毡帽，颈上套一个明晃晃的银项圈，这可见他的父亲十分爱他，怕他死去，所以在神佛面前许下愿心，用圈子将他套住了。	彼は台所にいた。赤銅色のまるい顔、頭には小さな毛織りの帽子をかぶり、首にキラキラ光る銀の首輪をはめていた。それは、彼の父が心からかわいがっていて、彼が死なないうちに、神仏に願をかけて、首輪で彼をつなぎとめていることを示していた。
此后便再没有人提起他的氏族来，所以我终于不知道阿Q究竟什么姓。	それ以後、もうだれも彼の氏素性のことをもちだすものはなかった。 だから 私も阿Qの姓が何というのか、結局わからずじまいである。
若论“著之竹帛”，这篇文章要算第一次，所以先遇着了这第一个难关。	もし「これを竹帛に著す」というのであれば、この文章が最初のものということになる。 だから まず、この第一の難關に出会ったのである。
阿Q想在心里的，后来每每说出口来，所以凡是和阿Q玩笑的人们，几乎全知道他有这一种精神上的胜利法，此后每逢揪住他黄辫子的时候，人就先一着对他说话：	阿Qは心に考えていることを、あとでよく口に出してしまう。 そこで 阿Qをからかう人は、ほとんどみな、彼にそうした精神的勝利法のあることを知って、それからは彼の赤毛の弁髪をひっぱるときには、いつもまず最初にこういうのだ。
我们不能知道这晚上阿Q在什么时候才打鼾。但大约他从此总觉得指头有些滑腻，所以他从此总有些飘飘然：	その晩、阿Qがいつイビキをかきだしたか、われわれは知ることはできない。ともかく彼は、そのとき以来、指先のすべすべが気に入り、 そのため 彼は、そのとき以来、飄々然となりっぱなしになったようである。
从先前的阿Q看来，小D本来是不足齿数的，但他近来挨了饿，又瘦又乏已经不下于小D，所以便成了势均力敌的现象，四只手拔着两颗头，都弯了腰，在钱家粉墙上映出一个蓝色的虹形，至于半点钟之久。	これまでの阿Qから見れば、小Dは歯牙にかけられるほどもない相手だった。しかしこのころ、腹をすかせばなしなので、やせてひよろひよろしている点では小Dとおつかつたであった。 そのため 勢力均衡の現象が生じた。四本の手が二つの頭を引っぱり合い、どちらも腰を曲げて、錢家の白壁の上に藍色の虹を映し出すこと、およそ半時間の久しきに及んだ。
大约半点钟，——未庄少有自鸣钟，所以很难说，	およそ半時間、——未莊には時計が少なかった ので 、たしかなことはいえない。
小尼姑之流是阿Q本来视若草芥的，但世事须“退一步想”，所以他便赶紧拔起四个萝卜，拧下青叶，兜在大襟里。然而老尼姑已经出来了。	若い尼など、阿Qには塵か芥くらいにしか見えない。とはいえ、世間のことは「一步退いて考え」ねばならぬ。 だから 彼ははいそいで大根を四本引っこ抜き、青い葉をもぎとって、上衣の下に隠した。ところが、年寄りの尼がすでに姿をあらわしていた。
阿Q前几回上的城，大抵早就兴高采烈的对人说，但这一次却并不，所以也没有一个人留心到。	阿Qはこれまでにも何回となく城内に行つたが、たいてい、行くときには前もって得々と吹聴したものである。ところが、こんどはそれをしなかった から 、だれひとり気に留めるものがなかったのである。

中国語原文	日本語訳文
人人都愿意知道现钱和新夹袄的阿Q的中兴史，所以在酒店里，茶馆里，庙檐下，便渐渐的探听出来了。	だれもが、現金と新調の袷の阿Qの中興史を知りたいがり、そこで居酒屋で、茶館で、土地廟の軒下で、だんだんに話を聞きだした。その結果、阿Qは新しい畏敷をかちうることになった。
虽然未庄只有钱赵两姓是大屋，此外十之九都是浅闺，但闺中究竟是闺中，所以也算得一件神异。	未庄で大きなお邸といえは錢家と趙家だけで、そのほかは九分どおりまで浅閨だが、浅閨であっても閨中は閨中である。だから、これまた不可解な事件といつてよい。
其实举人老爷和赵秀才素不相能，在理本不能有“共患难”的情谊，况且邹七嫂又和赵家是邻居，见闻较为切近，所以大概她是伊对的。	實際、舉人旦那と趙秀才とは親しい関係ではなかったから、筋からいって「患難を共にする」義理はありえなかった。まして、鄭七嫂は趙家の隣りに住んでいて、まぢかに見聞したわけだから、おそらく彼女のいうほうが正しいのさ。
但他有一种不知从那里来的意见，以为革命党便是造反，造反便是与他为难，所以一向是“深恶而痛绝之”的。	ただ彼は、どこから仕込まれたかわからぬが、一つの意見を持っていた。つまり、革命党とは謀反であつて、謀反は自分にとって迷惑だという意見である。だから、彼はこれまで「深く悪み、断じてこれと絶つてきた」。
这是“咸与维新”（4）的时候了，所以他们便谈得很投机，立刻成了情投意合的同志，也相约去革命。	いまや「咸与に維新たり」（書經の言葉）とあつて、二人はすぐうまが合い、たちまち意気投合した同志となつて、たがいに革命を誓ひあつた。
倘在夏天，大家将辫子盘在头顶上或者打一个结，本不算什么稀奇事，但现在在暮秋，所以这“秋行夏令”的情形，在盘辫家不能不说是万分的英断，而在未庄也不能说无关于改革了。	これが夏だったら、だれでも弁髪を頭にぐるぐる巻きにするか、たばねるかするので、べつに珍しくはないのだが、今はもう秋も末だから、この「秋に夏令を行なう」状態は、ぐるぐる巻き派にしてみれば、思い切つた英断といわざるをえないし、未庄にとつても改革と無関係だとはいえないわけである。
他们是没有受过新教育的，太太并无学名或雅号，所以也就没有什么称呼了，	彼らは新教育を受けたことがなく、奥さんには学名もなければ雅号もなかつたので、こんなときの呼び名はなかつた。
当是时，便是廉吏清官们也渐以为薪之不可不索，而况兼做教员的方玄绰，自然更表同情于学界起来，所以大家主张继续罢课的时候，他虽然仍未到场，事后却尤其心诚悦服的确守了公共的决议。	///こうなるど、さすがの清廉な官吏たちも、俸給は要求しなければならぬと、しだいに思うようになった。まして教員を兼任している方玄綽の場合、学界に対して一層の同情を表わすようになったのは当然であつた。だから人々がスト続行を主張したときには、彼は会に参加こそしなかつたが、事後はとくに欣然として共同決議を遵守したのであつた。
他自己说，他是自从出世以来，只有人向他来要债，他从没有向人去讨过债，所以这一端是“非其所长”。	彼自身に言わせると、彼は生れてからこのかた、人から借金の催促を受けたことはあつても、人に貸金の催促をしたことは一度もない。だからそんなことは「わが得意とする所にあらず」ということになる。
大家左索右索，总算一节一节的挨过去了，但比起先前来，方玄绰究竟是万分的拮据，所以使用的小厮和交易的店家不消说，便是方太太对于他也渐渐的缺了敬意，	誰もかれもが八方やりくり算段をして、ともかく季節、季節を切り抜けてきたが、以前にくらべると、方玄綽はすっかり不如意になつた。そのため使っているボーイや、出入りの商人は言うまでもなく、女房までが彼に対してだんだんと敬意を払ふぬようになった。
惟有三太太是常在那里喂他们蔬菜的，所以常想到。	三太太だけはいつも彼らにほうれん草をやつていたから、折にふれては思い出した。
我开不得口。这样奇妙的音乐，我在北京确乎未曾听到过，所以即使如何爱国，也辩护不得，因为他虽然目无所见，耳朵是没有聋的。	私は何もいうことがなかつた。こんな珍しい音楽は、たしかに北京では聞いたことがない。だから、いかにお国自慢であつても弁護するわけにはいかない。彼は、目は見えないが、耳はツンボではないのだから。
那时我的祖母虽然还康健，但母亲也已分担了些家务，所以夏期便不能多日的归省了，便不能多日的归省了，只得在扫墓完毕之后，抽空去住几天，这时我便每年跟了我的母亲住在外祖母的家里。	当時、私の祖母はまだたつしやであつたが、母はすでに家事の一部を受け持たされていたので、夏でもそう長く里帰りはできなかった。せいぜい、墓参り（旧曆三月の行事）がすんでから、暇をみて何日か泊りがけて帰る程度だつた。そういう時に私は毎年、母について外祖母の家に泊りに行くのである。
虾是水世界里的呆子，决不惮用了自己的两个钳捧着钩尖送到嘴里去的，所以不半天便可以钓到一大碗。	エビは水の世界の阿呆である。それこそ、何にもためらわずに、自分の二つのハサミで釣針の先を捧げもつて、口の中に入れるのだ。だから半日もせずにどんぶり一杯釣れた。
彷徨（原文）	彷徨（訳文）
虽说故乡，然而已没有家，所以只得暂寓在鲁四老爷的宅子里。	故郷とはいつても、もう家はなくなつていたから、魯四旦那の家にしばらく置いてもらうことにした。
我因为常见些但愿不如所料，以为未毕竟如所料的事，却每每恰如所料的起来，所以很恐怕这事也一律。	これまでの経験では、そうなるのは困る、まさかそうはなるまいと思つていたことが、あいにく、その通りになってしまうようなことがよくあつたので、私はじつは、こんどもそういう事態になるのではないかと懸念していた。
“死了？”我的心突然紧缩，几乎跳起来，脸上大约也变了色，但他始终没有抬头，所以全不觉。	「死んだ？」私の胸は急につまつた。飛びあがりそうになり、顔色も変わったようだつた。だが相手は、ずつと下を向いたきりだつたので、すこしも気づかなかつた。
卫老婆子叫她祥林嫂，说是自己母家的邻舍，死了当家人，所以出来做工了。	衛ばあさんは、彼女のことを祥林嫂とよんでいた。なんでも、衛ばあさんの実家の隣りのもので、亭主に死なれたために、奉公に出ることになつたそうだ。叔父は、眉をひそめた。叔母には、それが、やもめじゃ困るという意味だとわかつた。
试工期内，她整天的做，似乎闲着就无聊，又有力，简直抵得过一个男子，所以第三天就定局，每月工钱五百文。	見習いのあいだ、彼女は一日じゅう働きどおして、ひまだと手持ち不沙汰にしていた。それに力も男に負けぬくらいあつたから、三日目には話がついて、月々の給金は五百文と決まつた。
她婆婆来抓她回去的时候，是早已许给了贺家坳的贺老六的，所以回家之后不几天，也就装在花轿里抬去了。”	あの姑さんが連れ戻しにきたときには、もう賀家坳の賀老六のところへ嫁に行くことにきまつていたんです。ですから、家に帰ると幾日もしないうちに、花轎に乗つて行きましたよ」
他的婆婆倒是精明强干的女人呵，很有打算，所以就将她嫁到里山去。	「・・・あの姑さんときたら、そりゃ遣り手のしっかりものでして、ちゃんと算盤をはじいたうえで、あの女をもつと奥の村へ嫁にやつたのですよ・・・」
“...惟独肯嫁进深山野坳里去的女人少，所以她就到手了八十千。……”	「・・・山奥へは嫁の行き手がないから、あの姑さんは、八十貫も手に入れましたよ・・・」
“...好在她现在已经再没有什么牵挂，太太家里又凄巧要换人，所以我就领她来。……。”	「・・・いまじゃもう、前のような面倒なひつかりはありませんし、奥さまの家でもちょうど代りのものを探していらつしやる。それで、また連れて参りました。……」
“你想，家里能有白糖的船户，可见决不是一个穷船户了，所以他也吃得很阔绰。……”	「ねえ君、家に白砂糖の用意がある船頭なら、どうみても貧乏船頭じゃないやね。だから、口もおごっているわけさ。・・・」
“然而这回的差使是不能不办妥的，所以想了一想，终于回到就在斜对门的柴店里。	「だが、こんどの使いばかりは、果たさないわけにはいかないと思つた。そこで考えたあげく、斜め向いの炭屋へつとてかえした。
“...他们订有四十多条条约，非常详细，所以非常平等，十分自由。……”	「・・・彼らは四十何カ条の条約を締結している。詳細をきわめたもので、だから非常に平等であり、きわめて自由だ。……」
“马克思在儿女的啼哭声中还会做《资本论》，所以他是伟人，……”	「マルクスは子どもの泣き声の中でも『資本論』を書くことができた。だから彼は偉人である……」
这胖子过于横阔，占了两人的地位，所以续到的便只能屈在第二层，从前面的两个脖子之间伸脑袋去。	そのデブは横にたくで、二人分の場所を占領したから、あとからやってきたものは二列目に甘んじて、前列の二つの首のあいだへ頭を突っこむほかなかつた。
“不，不！不忙，不忙！兄弟以为振兴女学是顺应世界的潮流，但一不得当，即易流于偏，所以天曹不喜，也许不过是防微杜渐的意思。……”	「いや、構いません。私は、こう考えます。女子教育の振興は、世界の潮流に順応するものです。しかし、当を失すれば、偏向しがちとなる。ですから、天帝がお喜びにならぬのも、つまりは弊害を未然に防ごうという思召しからでしょう。・・・」
全山村中，只有连爻是出外游学的学生，所以从村人看来，他确是一个异类；	この山村全体で、他郷へ遊学に出た学生といえは、連爻がただひとり、だから村人から見れば、彼はたしかに異分子であつた。そのくせ、ひどくねたんでいて、えらく金をもうけたそうだと噂していた。
她这时才又知道七大人实在威严，先前都是自己的误解，所以太放肆，太粗卤了。	これまで自分はすべて誤解していたのだ。だからこそ、勝手な、ぞんざいな振舞をしたのだ。彼女はひどく後悔して、思わず口をついて出た——
青春之歌（原文）	青春之歌（訳文）
道静知道王妈见过她的亲妈，所以才想起来问她。	道静は王媽が、じぶんの生みの母親に会つたことがあるのを思い出した、それでかの女に、聞いただてしてみようと思つたのだつた。
道静没有告诉他关于自己出走的原因，只说家里不能再供她念书，所以找表哥来谋职业。	道静は家出してきたことは内緒にして、ただ、これ以上学校をつづけられなくなったので、従兄の所に職探しにきたと告げた。
“七岁起每夜几乎都要替徐凤英上街买东西，所以胆子是大的。……”	「七歳のときから、ほとんど毎夜のように、徐鳳英のために、町へ買物にやらされていたので、胆力はすわっていた。・・・」
“我一见姓林的小姐找她表哥来，像个逃难的，那份愁模样叫我怪心痛的，所以，我把她挽留下来。……”	「林という小姐が従兄を訪ねて来たとき、わたしはすぐ、こりや家出娘だと思つた。あのうちひしがれたすがたは、人の心をうつに充分だ、そこで、あの娘をひきとめたというわけだ」

中国語原文	日本語訳文
他瞟了道静一眼，微微不安地顿了一下，“可是，不知道你看出来没有？我早就担心你会意外，所以常常跟在你后边。	かれは道静をちらっと見て、やや不安そうにちよっと口ごもった。+++「でも、気がつかないかな？ ぼくは、きみがやるんじゃないかという予感があったんで、いつもあとをつけていたんです。
她从小生长在和平、温暖的小家庭中，所以性格不像林道静那样奔放、大胆。	生まれたときから、平和であたたかな小家庭の中で育った王曉燕は、林道静のような奔放さや大胆さはなかった。
她和白莉苹同住在一个公寓里，白莉苹和罗大方熟，他常来找白莉苹，所以道静也就和白莉苹认识了。	かの女は白莉苹と同じ下宿だったし、白莉苹と羅大方とは知りあいなので、かれはよく白莉苹を訪ねてきた。そんな関係で、道静も羅大方をとおして、白莉苹と知りあいになったのだった。
这屋里除了白莉苹和罗大方，其他人她都是不认识的，所以她坐在一个角落里，只静听别人谈话。	この部屋の仲間のうちでは、白莉苹と羅大方のふたりのほかは、だれも知りあいがなかったの、かの女はひとりすみっこで、静かにみんなの話を聞いていた。
“想想，反动者的压迫越来越紧，我们许多人都不能再公开活动，所以你和徐辉要尽可能迷惑敌人，必要时才能给敌人突然的袭击。……”	「考えてみるよ。反动派の圧迫はますますはげしい。ぼくらの多くはもう、公然活動ができなくなっている。だから、きみと徐輝はできるだけ敵の目をくらましていて、必要時に敵に奇襲を加えるのだ。……」
“可是你太年轻，对复杂的魑魅魍魉的社会太缺少阅历，所以我不放心你。	「……きみは若すぎる。複雑な悪の巣のような社会に対する経験が、たりなすぎる。だから、ぼくは心配でならないんだ。……」
“我已经决定要和这样的家庭永远割断联系，所以绝不能再留在北平读书了。……”	「ぼくは、こんな家とは、もう永久に訣別する決心をしたんだ。だから、これ以上、北平で学生生活をつづけられないんだ。……」
他们叫她监视着我，所以必得这样唬一唬她。”	奴にぼくを監視させてるんだ。だから、これくらい、おどかしとかないかね——」
至于小风小弟弟我本想留下跟着我在北平读书，后来他愿意跟着父亲，所以也去了南方——他们大概都在南京。	「一弟さんの道風は、もともとわたしが預って、北平で学校へ通わせようと思ったのだが、あの子は父と一緒にいたいというので、これも南方へいっている。」
他，他要亲自审理你的案件，所以事情非常危急……”	八い奴、奴がじぶんで、あなたの事件を取調べようとしている、事態はとて危険だ。
昨晚，蒋孝先又打了电话来催问我关于你的情形，他很注意，抓得很紧，所以我只好一早就来关照你。”	昨夜、蔣孝先が、また電話をかけてきて、きみのようすを聞いてきた。奴はきみのことをとくに重要視して、早く処理したいと思っている。それで、こんなに早くから、きみに知らせにきたのだ」
但是，我没有被这种悔恨的心情压倒和吞没，所以，我不请求你的宽恕，我只想告诉你：你被捕了，	けれども、わたしは、後悔の念にうちひしがれもしなければ、埋没してもおりません、ですから、あなたの許しを乞おうとは、思っていないのです。わたしは、ただ、あなたに伝えたいのです。
“我是地主的女儿，也是佃农的女儿，所以我身上有白骨头也有黑骨头。”	「わたしは地主の娘です。同時に貧農の娘なんです。だから、わたしの身体には、白い骨も、黒い骨もあるんです（原住 ロシアの民間の伝説、白い骨は貴族をあらわし、黒い骨は奴隷ら労働人民をあらわす）」
“……本来早该去找你联系，可是咱这区这一阵子情况很紧，我到远处去了些天，所以没顾得去找你。……”	「……本来なら、もっと早く連絡しなけりゃいけなかったんだが、この地区の情勢が急に緊張したため、しばらく遠出していたんでね、おまえさんを訪ねるいとまがなくて……」
道静这才明白刘秀英的母亲思想进步的原因。一定是经过她和姑母联系了，所以姑母才了解自己的情况。	そういわれて、道静は劉秀英の母親の思想が進歩しているわけが、やっとわかった。きっとかの女が、おばさんと連絡をとっていたのだ。それでおばさんは、じぶんのようすを知ることができたのだ。
“非常感谢您。我那两个孩子，他祖父喜欢得不得了，不叫他们上学校，所以王先生介绍您来我家，我们全家都很高兴。”	「あなたには大変感謝しています。うちのふたりの子どもを、父がひどく可愛がっていて、学校にやらないのです。そこで王先生が、あなたをわたしの家へ紹介してくれることになり、みんな、大喜びなのです」
“不，”姑母又紧握住道静的手，柔声说，“我那侄儿把你交代给我的时候，说你已经叛变了你原来的阶级，愿意革命，所以，我才把你当成我自己的闺女一般看待……”	「いいや」おばさんは、またしっかりと道静の手を握りしめ、やさしく答えた。「わたしの甥が、おまえを預けたときにね、おまえはもう、もとの階級に背を向けて、革命を望んでいるといっていた。だから、わたしはおまえを、じつの娘も同様にしてきたんだよ。
姑母点点头：“是他。那好，你已经认识了他……”说到这里，姑母又警惕地看看窗外和听四周——幸好对面屋里的陈大娘这两天因为文台的母亲生了病，天还不亮就进正院去了，所以道静和姑母说话很方便。	おばさんはうなずいた。+++「そうだよ、知っているなら、ちょうどいいい」+++そういうと、もう一度、警戒するように窓外をうかがい、あたりのものに音をすました。具合のいいことに、おまえの部屋の陳ばあやが、ここ二、三日、文台の母親が病気がので、夜のあけぬうちから、本屋敷のほうにいつしてしまっていて、道静とおばさんが、話しあうのには好都合だった。
困的我想倒在人家门洞里就睡，可是，那呼呼的北风，那么大的雪，我知道我一睡下就得冻死，所以我还是顺着胡同和大街跑。	疲れと眠さに、よその家の軒先で寝たいと思ったけど、北風はびゅうびゅう吹き荒れ、大雪ときている、眠ってしまったら、きっと凍死するに違いない。それで、わたしは、懸命に路地や通りを、歩きつづけたの。
不过，后来她又想到，可能满屯不了解她过去的真实生活，所以才这样说她。	だが、そのあとで、かの女は、満屯はきっと、じぶんの過去のほんとうの生活を知らないから、あんなふうにいっただろうかと思直した。
他有钱，又有野心，所以连少奶奶、老东家都不知道他那些缺德事。	若旦那はお金はあるし、悪知恵を働かしているから、若奥様や旦那さえ、若旦那がそんな恥知らずなことをしているとは、知らないんだよ。
“从上次过了堂，我就明白，他们不会再让我活多久了……他们认为我是从中央调来的党员，所以我准备着……”	「このまえの取調べでわかったのだけど、奴らは、…これ以上わたしを、生かしておかないようなの。…わたしが中央から派遣された、大ものだと思っているのよ。だから、わたしも覚悟して……」
“■，傻妹子，你们不可靠，所以那些共产党才没有给这屋里送条来。……”	「なんどだって、この馬鹿娘が。おまえさんたちは、信用されていないんだよ。だからあの共産党どもは、この部屋に紙をまわしてこないのさ。……」
“老范，你是不常来，我每个星期至少要有两次，不，两顿，非在鸿宾这儿吃饭不可，所以我同这位郑老弟早就见过。”	///「范君、きみはめつたに来ないが、わたしは少なくとも週に二日は、いや二回は、王君のところでお食事をしないと納まらないんだ。だから、わたしはこの鄭君とは、まえから知りあいなんだ」
“……日本军队从昨天起，开始在北平、平汉两条铁路上大演习，就以北平为‘假想敌’，所以清华吓得要搬往长沙；……”	「……日本軍は昨日から、北平、平漢のふたつの鉄道沿線で、北平を『仮想敵』として、大演習をはじめたんです。それで清華大学では、びっくりして長沙に移転することになり、……」
“林道静，不，路芳——我总叫不惯你这个新名字，所以惹了祸。……”	「道静さん、いえ、路芳さん——わたし、この新しい名前を呼び慣れなくて、それであんな迷惑かけちゃったけど。……」
“……我表姐那时和你是好朋友，她常常提到你，说你是个什么什么样的人，所以我脑子里印得非常深。……”	「そのころ、従姉があんたと仲よくしていて、いつもあんたの噂をしていたんだ。あんたがあだ、こうだとか、どういう人がらだとか、それで、あんたの印象が、ぼくの頭に強く焼きついてしまったんだ。……」
道静点点头，说：“尽管在残酷的斗争中有人经受不起考验，可是我知道一点你在狱中的情形，所以见了你很高兴。……”	道静はうなずいた。+++「残酷な闘争を経るあいだに、訓練に耐えかねて脱落する者もいるけれど、あなたの獄内の情況は、わたしも少しは知っているわ。だから、あなたに会えて、とても嬉しいの。……」
“中国的革命，武装斗争自然是根本问题，所以我们大家那么关心红军的斗争和胜利，工农劳动阶级也是自然是斗争的主体，是中国革命的基本队伍。……”	「中国革命においては、もちろん武装闘争が根本問題だ。だからわれわれは、こんなにも赤軍の闘争と勝利に、関心をよせている。労働者・農民・勤労者階級は、もちろん闘争の主力であり、中国革命の基本部隊だ。……」
“难怪你苦闷，你只看到了一个小角落，所以这么说。……”	「きみが悩むのは、むりもないことだ。きみの目は、狭い片隅にしかとどいていない。だからそういうふうで、考えてしまうんだ。……」
“根据大家的要求，所以今天我们的例会是不是就可以开始这样尝试一下？”	「諸君の要求にもとづいて、今日のぼくたちの例会は、そういうかたちで、すすめてみたいと思うのだが、どうでしょうか？」
“没有重视这些力量，所以造成北大的工作停滞不前。”	「だが、かれらをぜんたいの情勢と結びつけることができず、かれらの力を重視しなかった。このために、北大の運動を停滞させ、前進させることができなかったのだ」
道静的声音越说越低，显然，她的忧虑超过了高兴。这一点，侯瑞也觉出来了，所以他接着说：	道静の声は、次第に低くなっていった。あきらかに、かの女の心配は、喜びをうわまわっていた。その点は、侯瑞にもよくわかっていて、それで、急いでことばをついだ。
“现在到了决定胜负的关头，所以我们要开这个会来研究……”	「……いまや勝敗を決する正念場に、さしかかっているのです。それで、わたしたちは、この会議をもって研究したいと……」
///但是，今天，他们已经在血腥的现实面前逐渐觉醒了，所以我们要积极地引导他们，积极地团结他们，带领他们走出这沉闷的小圈子，带领他们奔向民族解放的神圣道路。……”	「けれども、こんにち、かれらはこの血なまぐさい現実のまえで、しだいに目ざめてきました。ですから、積極的にかれらを導き、積極的にかれらを団結させ、かれらを率いて、この沈滞した小さなわくの中から、ひっぱりだして、民族解放の神聖な大道へ、踏みださなくてはなりません。……」
///不见我了，她该怎么样的到处哭着找我啊！所以我拿起了这把梳子，一个劲地使劲梳头。”	///わたしがいなくなってしまうたら、どんなに泣きながら、娘を捜しまわることか！だからわたしは、この櫛を手にとって、力まかせに髪をとかしてたの」

中国語原文	日本語訳文
侯瑞是四年级的学生，他又是四年级的临时推出来的代表，所以先起立发言：	「侯瑞は四年生でもあり、四年生から臨時に選出された代表でもあるので、かれがいちばんさきに立って発言した。」
“噢，”江华沉吟片刻又说道，“晓燕，我想提醒你，戴偷的问题不只是你一个人的命运问题，所以只是悲伤痛苦是不能缓和目前的紧张情况的——你是不是已经明白了这种情况？”	「“そうか”江華はしばらく考えていたが、「曉燕、きみに気づいてほしいことがあるんだ。戴偷の問題は、まみひとりの運命の問題にはとどまらないのだ。だから、ただ悲しんだり、苦しんだりしていても、目のまえの緊迫した状況を、緩和することはできないのだ。——きみは、情況がどんなに緊迫しているのか、わかっているのかね？」
“……现在形势这样紧张，日本人一天天地逼近，晓燕是个稳重的慢性子，我催催她要加紧干，她就着了急，所以我今天特来向她道歉。”	「……いまの情勢はこんなにも緊迫していて、日本軍は日いちにちと追ってきている。ところが曉燕はあのとおり、おっとりした慎重派でしょう、ぼくがハッパをかけたものだから、かの女も気持ちがいらだって、それで今日は、わざわざ、あやまりに来たんです」
倾城之恋 (原文)	傾城の恋 (訳文)
家里老公有要事上香港去接洽，如果一切顺利，就打算在香港租下房子，住个一年半载的，所以她这两天忙着打点行李，预备陪他一同去。	夫が香港へ商談に行くことになって、順調にいけば、香港に家を借りて一年半ほど住むことになる。そのためこの二日ばかり、夫について行くための支度で忙しかった。
“上海人自然是喜欢上海人，所以同乡的小姐们在那边听说是很受欢迎……”	「上海人はやっぱり上海の人がいいから、同郷のお嬢さんはとてももてはやされるそうですわ。……」
空穴来风，所以她感受到恐怖的袭击分外强烈。	空洞には風が通る。だから襲撃の恐怖もことのほか強烈に感じる。
棋王 (原文)	チャンピオン(棋王) (訳文)
“蛇肉碰不得铁，碰铁就腥，所以不切，用筷子撕着蘸料吃。”	「ヘビの肉は鉄に触れると生臭くなるので、切らずに箸でつまみ、醤油をつけて食うのさ」
“……燕窝这种东西，是海鸟叼来小鱼小虾，用口水粘起来的，所以里面各种脏东西多得很，要很细心地一点一点清理，一天也就能搞清一个，再用小火慢慢地熬……”	「……ツバメの巣は岩ツバメが小魚や小さなエビをくわえてきて、唾液でこねあわせたものなので、不潔なものがたくさん混じっている。それで、ひとつひとつ丹念に取りのぞかなければならないので、一日中やってもひとつしかできない。それをとろ火でゆっくりと蒸すのだ。これを毎日少しずつ食べると、体のために非常にいいそうだ」
人到中年 (原文)	北京の女医 (訳文)
“……一位副部长，他夫人老怕手术做不好，总是制造紧张空气，所以我得去看看他……”	「……一方は次官。この夫人が手術を恐ってばかりいて、緊張し続け、だから私行つてみなければ……」
霜叶红似二月花 (原文)	霜葉紅似二月花 (訳文)
“本来也没有我的事，不过王伯申既然诚意相邀，我一想，这也是地方上一件好事，所以我就去了，——也加入做个发起。”	「「ぼくだって本来出る幕ではないんですが、王伯申が熱心に誘いにきたし、考えてみれば、町のためにもなることだしするので、顔を出してみました。それに、発起人にも加わることにしました」
“就怕的他们知道了，又要嚼苏，我所以不向店里去拿。”	「「ちの連中の耳にはいると、またぶつくさいわれるな。それさえなければ、店から取ってくるんだけど」
“……论理，公司里早该加价了，不过，王经理办事向来大方，所以还要看看天时。”	「……だから、本来ならもっと早く値上げしていいところなんですが、うちの王社長は鷹揚な方ですからね、もう少し天気具合をみてみようといっているんですよ」
她早知道他们夫妻不甚相得，所以向少奶奶很容易怀疑到这上头，然而她相信恂如的确是没外遇的。///	「婉卿は、この夫婦がしっくりいっていないことにかねてから気がついてた。だからこそ、宝珠がこんなことを考えるのだとは思ったが、恂如に限って外に女をつくるなどということは絶対にないと確信していた」
原来诸公之中，胡月亭总算是前清的一名秀才，而且朱行健他们闹“维新”的时候，他也已经“出山”，所以还约略懂得“康梁”是什么；	「ここに居あわせたお歴々のうち、胡月亭は清朝の秀才で、朱行健らが「維新」運動に飛びまわっていたころ世間に顔を出しはじめただけに、「康・梁」の何たるかをいささか心得ていた」
“有了，有了；人家孝廉公到底中过举，是天上星宿下凡，所以能够未卜先知，从省里就看到了县里……”	「なるほど、なるほど。さすがは舉人閣下、文昌帝君の生まれかわりだけあって、なにごともお見とおしだ。省城にいらしてやって、このことまでおわかりとは……」
“长庆兄，那个陈什么的，恐怕还是读书人呢，说不定也是中过举的，所以，他的党徒大概也是念书的……”	「長慶君、いま話の出た陳なんとかいうのは、舉人かどうかは知らんが、どうも学問をした人間らしいな。だから、一味の連中もその手合いだろう。……」
“可是妹夫的病迟早总能够治好，所以我的好运气迟早也会来的！”	「しかし彼はいずれはきつと治る。したがって、おれのツキだって、いずれはきつともどってくるというわけだ」
县里那些出外读书的姑娘们，总喜欢替自己所在的学校吹嘘，她们大都是心高气傲，嘴巴上不肯吃亏的，所以一总十来个女孩子倒因为“校籍”的不同而分成了好几派，尤其是教会派与非教会派之间，平日简直少往来，偶然碰到也常常互相讪笑。///	「この町から県外の学校へ進んでいる少女たちは、それぞれ自分の母校を誇りに思っていた。彼女たちは気位が高く、たがいに張りあっていたから、都合十名ほどの少女たちは、「学校」別に派をつくっていた。とりわけ、ミッション派と非ミッション派は、不都合からはほとんど行き来せず、時々顔をあわせても冷笑をかわすくらいが関の山だった。///」
“……不过，他现在先将姜锦生押起来了，大概锦生那几亩田还没到寿终正寝的时候，所以赵剥皮使出他那打闷棍的一手来。”	「もつとも、彼は今度は、先に姜錦生を警察に突き出しましたね。これは、姜錦生の田地に脈が残っている証拠と見ていいでしょう。だからこそ奴は、得意のおどかしの手に出たのですよ」
“赵守义也知道正面文章做不过我，所以穷凶极恶，到处放野火……”	「趙守義だって、正面切っかかってもかなわんことは承知している。それで、切羽つまって、所きらわず火をつけまわっているわけだ。……」
“有一件事，打算递个公呈。论这件事，也和伯申利害相关，所以，我们打算邀他——嗯，共策进行……”	「じつは、ある問題で請願書を出そうと思っておる。これは、伯申君の利害とも関係があるので、わしらとしては、彼にも加わってもらおうと思っっているのだ……」
他眯着眼睛，看住了竞新的面孔，从“微生物”之以恒河沙计，说到“微生物”之可怕，因而又说到灰尘之类就是“微生物”的家，所以“克成眼里撒了灰尘，真不该用手揉”，又抱怨竞新为什么不关心他妹妹，任凭她胡闹。	「彼は目を細めて競新の顔を見つめながら、星の数ほどもある「細菌」の話からはじめて、「細菌」の恐ろしさに説きおよび、さらにほこりのたぐいが「細菌」の住処であることに説ききたって、だからこそ「克成は目にほこりがはいつたからといって、揉んだりしてはいけないのだ」と、競新の監督不届局に対する不平まで並べ出した。
“怎么不是！”良材随口回答，但立即又想到，也许老太太她们已经在背后议论他眼界太高，所以恂如的口气也好像有点不平和的，——他笑了笑又郑重说：	「不満なんて、そんな」良材は言下にいいかえしたが、すぐまた気がついた。お婆さまたちがかげでおれのことを高望みをしているとか何とか取沙汰しているのだらう、それで恂如の口振りにまでそれが出たんだな——彼ははにやにやしながら、弁明した。
恂如对于太太不满意，所以心里不能闲，	恂如は女房が気に入らないものだから、いらいらしている。
天云山传奇 (原文)	天雲山伝奇 (訳文)
我丈夫吴遥曾是她父亲的下级，我去世的父亲也认识她的父亲，所以她也就成了我们家的常客，来往像自己家一样。	夫の吳遥はかつて彼女の父親の部下だったし、私の亡くなった父親もまた彼女の父親と知り合いだったので、彼女はしょっちゅう我家に出入りして、家族同様に付き合っていた。
今天，我也正处在这种情绪之中，所以看到她来了，我很高兴。	「今日も、私はまさにそういう気分になっていた所だったから、彼女が来たのを見て実に嬉しかった。」
当时，省里准备在这里大搞一下，所以不仅派了我们这些人来，还专门把天云山划成一个特区。	「当時省ではここを大々的に開発する計画で、我々を派遣したばかりではなく、天雲山を特別区に指定したのだった。」
骆驼祥子 (原文)	駱駝祥子 (訳文)
人与车都有相当的漂亮，所以在要价儿的时候也还能保持住相当的尊严。	人も車もまあまあといったところなので、値の駆引きにもだいいぶはったりをきかずことができる。
他们的车破，又不敢“拉晚儿”，所以只能早早的出车，希望能从清晨转到午后三四点钟，拉出“车份儿”和自己的嚼谷①。	「これが四十以上、二十以下となると、なかなかこうはゆかない。この連中はだいいぶいたんだ車を使っているし、「終夜」はともできないから、明けがたから夕方までに損料とその日の食扶持だけでも稼ごうと、せいぜいはやくから車を引いてるのである。」
他们的车破，跑得慢，所以得多走路，少要钱。	「車はボロ、足はおそいときているから、人一倍ひいてまわって、上がりはすくない。」

中国語原文	日本語訳文
设若口齿伶俐是出于天才，他天生来的不愿多说话，所以也不愿学着城里人的贫嘴恶舌。	///祥子は田舎者で、町方の人間みたいにべらべらまわる舌をもちあわせていなかった。たまたま、べらべらやれるということが先天的なものだとしたら、彼は生まれつき口がおもいほうだったので、町方の人間の薄っぺらなおしゃべりなどまねしようとも思わなかった。
即使人们疑心，也只能怀疑他是新到城里来的乡下老儿，大概不认识路，所以讲不出价钱来。那财既是那么千载难遇，所以有些彩气的必定是与众不同，福大命大。	たとえ疑念をもつ客があったところで、その疑念も彼がぼつと出た田舎者で、道を知らないため値を言いたせないだろうといった程度だった。 しかもそんなうまいことにはめつたにぶつかものではない。したがって、そんなことにめぐりあえたやつは、これは並の者とはちがってよほど運のいいやつなのだ。
祥子看着院子直犯恶心，所以只顾了去打扫，而忘了车夫并不兼管打杂儿。	祥子は見ているだけでも色がわるかったところなので、車夫は雑用をしないという本分を忘れて、夢中で掃除した。さ
及至遇到张妈的蛮悍，他们开始感到一种礼尚往来，英雄遇上了好汉的意味，所以颇能赏识她，把她收作了亲军。	張媽の勇猛果敢さに出合って、彼らははじめてなお往古の礼風が存在するのを知り、英雄を知るは真の英雄なりというところで、すっかり彼女に惚れこみ、彼女を親衛隊にくわえたのである。
好在他还得去接杨先生，所以急忙的又跑出去，大街上的人喊马叫似乎还比宅里的乱法好受一些。	うまいぐあいに旦那のお迎えの時間だったので、とっとと逃げだしたが、大通りのほうがおなじるさいにしてもまだしも筋がとおっていると思った。
牌局散了，太太叫他把客人送回家。两位女客急于要同时走，所以得另雇一辆车。祥子喊来一辆，太太太擦拖带的混身找钱，预备着代付客人的车资；	麻雀がおわるのと、奥さんは彼にお客を送るよう命じた。お客はふたりとも帰りを急いでいたので、もう一台、車を呼ぶことになり、彼がさがしてくると、奥さんは車代をだそうとして、あちをおさえてみたりこちをおさえてみたり、ばたばたやりはじめた。
祥子好似看见一个非常新异的的东西，既熟识，又新异，所以心中有点发乱。	よく知っているくせにまたはじめて見るような気もする、そんなまか摩訶不思議なものを見たような気がして、いささか動転していた。
曹家的人是例外，所以喜欢在这儿。	そこへいくと曹家の人たちは例外で、だからこそ祥子も気に入っていたのである。
他似乎看出来，自己并没有惊人的才力，能够作出些惊天动地的事业，所以就按着自己的理想来布置自己的工作与家庭；他一向没遇到过象曹先生这样的人，所以他把这个人看成圣贤。	自分には人をおどろかせるような才能もなく、驚天動地の事業を達成することもできないのだから、せめておのれの理想を自分の仕事と家庭に生かしてゆこう、彼はこれまでついで曹先生のような人にお目にかかったことがなかった。それで彼はこの人を聖人と思こんだのである。
///曹家喜欢用干净敞亮的人，而又不大注意那些小过节儿①，所以她跟了他们已经二三年，就是曹家全家到别处去也老带着她。	///しかし曹家では、よく気がつくきれいな好きの用人人をよるこび、ちょっとした欠点などがめだてしなかったの、彼女はもうこの二、三年ここに住みこみ、家じゅうでよそへ行くようなときにも、いつもお供を命ぜられるのだった。
她每说一套，总够他思索半天的，所以每逢遇上她，他会傻傻忽忽的一笑，使她明白他是佩服她的话，她也就觉到点得意，即使没有工夫，也得扯上几句。	彼女の話はじつに含蓄があって、考えさせられるものであったから、彼女に会うたびに、にやりとして見せて、自分が彼女に一目おいてることをそれとなく知らせた。先方もそれを心得ていて、いそがしいときでも、二言三言ことばをかけてくれた。
他怀疑方家是跟邮局这个买卖——他总以为邮局是个到处有分号的买卖，大数字号还很老，至少也和瑞蚨祥，鸿记差不多——有关系，所以才这样热心给拉生意。	///また、方家はこの郵便局という店——彼は郵便局というのはいたるところに支店をもつ店で、瑞祥や鴻記なみの老舗なのだろうと思こんでいたのである——に関係があるもので、こんなに熱心に客を集めようとしているのではあるまいかとも思い、
曹氏夫妇没说什么，大概觉得这个玩艺虽然蠢一些，可是祥子的善意是应当领受的，所以都向他笑着表示谢意。	先生たちは口にはださなかったものの、これはまた突拍子もないものをもってきたものだった。しかし、祥子の善意はありがたいと思ったので、にこにこしてみせた。
晚间有个干净的住处，白天有件整齐的衣裳，所以他觉得自己与他们并不能相提并论，他现在虽是与他们一同受苦，可是受苦的程度到底不完全一样；	夜はきれいな部屋に寝られ、昼はさっぱりしたものが着られた。それで彼は、おれは連中とはちがうのだ、たしかにおなじように苦しい仕事をしてはいるが、程度がちがう。
他不能一个个的去批评她的主意，所以就找不出她的缝子来，他只感到她撒的是绝户网，连个寸大的小鱼也逃不出去！	彼女の言っていることを、ことごとくに検討してみる能力がなかったの、破綻を見つけだすことができないまま、あだただ、彼女が打ったのが雑魚一匹にけることもできない目の細かい網のように感じてしまうのだった。
外带着还是别出错儿，出了错儿总是洋车夫不对，巡警们心中的算盘是无论如何洋车夫总比骑车的好对付，所以先派洋车夫的不对。	///しかもぜつたいに衝突などできない。衝突したら頭から車引きの責任にされてしまう。巡査たちときたら、車引きのほうが自転車を乗りまわす連中より御しやすいときめてかかっているから、なにがなんでも車引きがわるいときめつけるのである
“……咱们总算有一面之交，在兵营里你伺候过我；再说咱们又都是街面上的人，所以我担着好大的处分来给你送个信！……”曹先生是个社会主义者，阮明的思想更激烈，所以二人很说得来。	「それに、おたがいしがねえ渡世をしている者たちだ。だから、特別のおおしめしでおまえにだけ知らせにきてやったわけよ。……」 先生は社会主義者だったし、阮明はもっと過激な思想の持主だったもので、ふたりはとにかく馬が合ったが、
///他们不知道他的委屈，而以为他是巴结上了刘四爷，所以不屑于和他交谈。	///いっぽう、みんなはみんな、彼のひそかな悩みなど知らぬまま、祥子は親方の腰巾着になったもので、お高くとまっていやがると思っていた。
这几天了，他自己没开口说过闲话，所以他的脑子也似乎不大管事了。	この幾日か、冗談ひとつ言ったことがなかったの、頭のほうもあまり動かなくなっていたのである。
高个子，他塌不下腰去，腰和背似乎是块整的木板，所以他的全身得整个的往前扑着；	背が高いのに腰をおとさないもので、腰から背にかけて板のようにこぼり、そのためからだ全体が前のめりになってしまう。
祥子能猜想得出，老头子的岁数到了，没有女儿帮他的忙，他弄不转这个营业，所以干脆把它收了，自己拿着钱去享福。	親方は年も年だし、たのみにしていた娘にも去られ、商売をつづけられなくなったので、思いきって店をたたみ、その金で余生を楽しむことにしたのである。
拉车的人晓得怎么赔东西，所以他磨不开脸不许熟人们欠账；	///車引きは、有る時払いで買うのが得意である。それで彼も、顔見知りにつけを断るわけにいかず、ツケで売ってしまえばこんどはなかなか払ってもらえない。
她与她们不能彼此了解，所以顶好各干各的，不必过话。	こんなふうにくいちがっていったから、おたがい好きなようにやるほかはなく、しゃべる必要もなかったわけだ。
小福子第一是长得有点模样，第二是还有件花洋布的长袍，第三是虎妞以为她既嫁过了军官，总得算见过了世面，所以肯和她来往。	彼女はかわいい顔をしていたし、更紗の着物をもっている。それに、軍人の嫁になっていたの世間を知っているにちがいない。虎■がつきあってもいいと思ったのはそのためだった。
随着军官，她并没享福，可是军官高兴了，也带她吃回饭馆，看看戏，所以她很有些事情说，说出来教虎姐羡慕。	軍人の妾になっていい思いをしたことはなかったが、それでも旦那の嫌嫌のいいときなど、料理屋や芝居小屋につれていってもらったりしたので、話のたねはいくらでもあって、虎■を羨ましがらせるに十分だった。
小福子也起得晚，可是她另有理由。她怕院中那些男人们斜着眼看她，所以等他们都走净，才敢出屋门。	小福子も朝がおそかったが彼女には彼女なりの理由があった。長屋の男たちにじろじろ眺められるのがいやで、みんながではらってしまうまで家にとじこもっていたのである。
祥子的嘴一向干不过虎妞，而心中又是那么憋闷，所以有时候就和小福子说几句。	口では虎■にかなわぬもので、ひとりできよくよしていた祥子は、ときおり小福子と二言三言ことばをかわしたりしたものであったが、
可是虎妞比别人都更多着些危险，别个妇人都是一直到临盆那一天还操作活动，而且吃得不足，胎不会很大，所以倒能容易产生。	それにして、虎■の場合はほかの者よりもはるかに危険だった。ほかの女はだれでも出産の当日まで働いているし、食べるものもじゅうぶん食べていなかったの、胎児も育ちようがなく、それだけ産みやすかった。
画完符，她又结结巴巴的说了几句：大概的意思是虎妞前世里欠这孩子的债，所以得受些折磨。	お札を書くと、彼女はまたどもりながらしばらく話した。虎■はうまれてくる子供に前世で罪をつくった。それゆえ、いまその贖いをしなければならぬのだ。
陈二奶奶热心的等着看看神符的效验，所以祥子得给她预备点饭。	陳二■■がお札の効き目があらわれるまで待とうと言うもので、祥子は彼女に飯をださなければならなくなった。
他急于搬走，急于打发了这些东西，所以没心思去多找几个人来慢慢的缠着价儿②。	とにかく、一刻も早く出てゆきたかったの、屑屋を何人も呼んで高い値をつけさせる余裕もなかったのだ。
最近娶了个姨太太，不敢让家中知道，所以特意的挑个僻静地方另组织了个小家庭。	近ごろお妾さんをもった。そして、奥さんには内緒で、わざわざ閑静なところにおちんまりした別宅をかまえたのであった。
没有花草可浇灌，他很想整理一下那棵枣树，可是他晓得枣树是多么任性，歪歪拧拧的不受调理，所以也就不便动手。	世話をやかなければならぬ草花もなかったの、その霧でもなんとかしてみたかったが、棗の木はなかなかひねくれたやつで思うようにならないことを知っていたので、手をつけなかった。
越闲越懒，无事可作又闷得慌，所以时时需要些娱乐，或吃口好东西。	ぶらぶらしているとますます怠け癖がつき、また退屈でしかたなしに、次から次へと遊びごとに手をだしてみたり、うまいものを食ったりした。
他的记忆是血汗与苦痛砌成的，不能随便说着玩，一说起来也不愿抬头去尾。每一滴汗，每一滴血，都是由生命中流出去的，所以每一件事都有值得说的价值。	彼の記憶は、血と汗と苦痛によって織りなされたもので、遊び半分には話せるようなものではなく、話すかぎりは首尾一貫していなければならなかった。汗の一粒一粒、血の一滴一滴が、すべて命そのものから流れたものであったから、どのひとつの事件も言いおとすことができなかったのだ。

中国語原文	日本語訳文
他停止住思想，所以就是杀了人，他也不负什么责任。	彼は考えることをやめてしまった。したがって、たとえ人を殺そうが、彼の責任とはいえない。
初一上来，大家一点也不怀疑他，都知道他是好体面讲信用的人，所以他一张嘴，就把钱借到。	みんなは彼が面子を重んじ、信用をだいじにする人間と知っていたから、はじめのうちは二つ返事で貸してくれた。
钟鼓楼（原文）	鐘鼓楼（訳文）
虽说他们早已接出去了一间厨房，但今天要办喜事，厨房支派不开，所以昨天便搭好一个用汽车苫布构成的棚子，好让今天来帮忙的大师傅有用武之地。	壁ぞいに小さな台所を張り出してあるが、今日の披露宴の支度をするにはあまりにも手狭である。それで昨日、自動車の雨よけのおおいを使って、そばに小屋をけし、今日手伝いに来てくれるコックさんに、そこで腕をふるってもらうことにしている。
一九七三年至一九七六年上初中时，学校里的文化课几起几落，不过总算设置了英语课，那英语教师据说有历史问题，饱受一番冲击，让他重执教鞭不过是“控制使用”，所以他站到讲台上时真是如履薄冰、如临深渊。	一九七三年から一九七六年まで中学で勉強したが、そのころにしても学校の科目は、設置されたかと思うと取り消すなど、何度か反復があったが、まがりなりにも英語があった。だが英語担当のその教師は、過去の経歴に問題があるとかいうことで、さんざん吊るしあげられたのである。ふたたび教鞭をとっているとは言え、まだ監視の目が光っている。だから教壇に立っても断崖に立たされているようで、薄氷を踏むような思いで教えている。
啊，华侨，要么外籍华人，他们搞外事活动的人，所以有这种人来往……	とっさの反応では、“あ、華僑だ、でなきゃ中国系外人だ。渉外活動をしているから、こういう人たちともつきあうんだわ”と思ったが、
正拌着凉菜的路喜纯，瞟了这位詹妮一眼，心想真是越外行越敢支嘴，不过他搞不清薛家同这位詹妮的关系，所以，一时便没有张嘴发话。	前菜を盛りつけていた路喜純は、ちらっと彼女にひと目くれ、“これだから素人は困る”と思った。しかしこの家とどういう関係の人かわからなかったのだから、何も言わなかった。
“倒是不挨打受骂。可后来那票子不值钱，棒子面都一天涨好几回价，甭说我们是勒紧裤腰带过日子，奥金巴也不宽绰，所以他那大儿子跑出城去，参加了解放军……”	「殴られたり怒鳴られたりはしませんでした。けれどあとになると、お金の値打ちがどんどん下がり、とうもろこし粉の値段だって、日に何度も上がったので、腰のバンドをきつければ、わたしだけじゃなくなりました。アウジンバだって楽じゃなかったんです。だから、その息子が城外にぬけだして解放軍に入ったんです……」
因此他在与滄台智珠接触时从未问过他的爱人是谁，直到刚才他急匆匆赶到滄台智珠家中时，他脑海里也没有与她的爱人相会的思想准备，所以一旦李铠以这种毫无掩饰的厌恶面目对待他时，他便大吃一惊，手足无措了。	///だから彼女というときでも、その夫のことを聞いたこともなく、さっき大急ぎでここへ駆けつけてくるときも、彼女の夫に会うだろうということなど考えもしなかった。それで、李鎧から、いかにも疎ましい態度を露骨に示されて、驚愕し、うろたえてしまったのだ。
／党支部书记觉得这事很难辩解，确实是落后的表现，所以不同意发展我爹入党。	それで党支部書記は、このことばかりは言い訳がきかない、なんといつても思想が立ちおくれしている証拠だ、入党には賛成できないって言うんだね。
他认不出那表盘上的拉丁字母是什么意思，他不懂汉语拼音，当然更不懂外文，所以他就当真了。	そこに書かれてあるローマ字のつづりがどういう意味かわからない。中国語のローマ字表記でさえ読めないのだから、外国語がわからうはずがない。だからあっさり信じた。
他和潘秀娅置办的家具里没有书架，实际上他们也简直没有什么书值得有个书架来存放，所以这本小册子便在这只抽斗里栖了身——这并非有意的安排，只不过是薛纪跃一个漫不经心的动作所形成的结果。	二人で買ったとどのえた家具には、本棚がなかった。並べるような本などどちらにもなかったのだ。だから薄い単行本はこの抽出に身をひそめている。といっても、わざわざそこに置いたのではない。紀躍がうっかりして入れてしまったまでのことだ。
枣儿高中毕业，试着考了大学，没考上——原也没指望考上，但杏儿一定要枣儿去试试，结果那回他们那个区没有一个人考上，所以大家都心平气和。	高校を卒業した弟は、大学入試を受けたがすべてしまった。もともと合格するとは思っていなかった。ただ杏児に“受けてみたら？”と言われて受けたまでのことである。その年、この区には合格者が一人もなかったのだから、どうということもなかった。
卢宝桑的父亲叫卢胜七，卢胜七的妹妹嫁给了薛纪跃大姑妈的小叔子，所以卢宝桑也管薛马跃的大姑妈叫姑妈。	盧宝桑の父親は盧勝七という。その妹は紀躍の上の伯母の義弟のもとへ嫁いでいる。だから盧宝桑は紀躍の父親を伯父と呼び、母親を伯母と呼んでいる。
还不光是这么一层关系，如今他跟薛纪微、孟昭英在一个单位，所以他又是薛纪跃兄嫂的同事。	それだけではない。いま、彼は、紀微や孟昭英と同じところで働いている。だから紀躍の兄夫婦の職場仲間である。
但他们的存在及其素质，实在是强有力地影响着北京城的总体社会生态景观，所以倘全面致力于北京城物质文明和精神文明的提高，就不能不研究他们、体察他们，从而引导他们、开化他们。	だが、彼らの存在とその素質は、北京の総合的社会生態の様相に強くひびく。北京の物質的文明、精神的文明を全面的に引き上げようとするなら、彼らを研究し、理解し、そのうえで彼らを教育し導いていかななくてはならない。
另一种则是解放前下层军官、警察、帮闲中罪状较轻、民愤不大的那伙人，经过一段审查、教育，或宣布为管制分子，或免于法律处分，因他们与上一类人物一样，并无一技之长，所以其中一部分也安置到了平板三轮运输工人的队伍之中。	もう一つは解放前の下士官や巡査、悪の手先のうち罪の軽い者やあまり民衆の怒りを買っていない者で、ある期間の審査、教育をへて、要監視者とされた者、あるいは法律処分を免れた者である。これも前者と同じように、技能がないので、その一部の者が運送三輪車の仕事をあてがわれた。
他来的最直接的目的是为了大吃大喝一番，他也并不掩饰这一点，所以他迈进了新房，见到薛纪跃并无什么祝贺的例话，先问薛纪跃索要三五牌香烟；	///彼の最大のねらいは大いに飲みかつ食うことだった。それをべつにかくす気もない。だから、紀躍を見て“おめでとう”のひと言もかけず、すぐに「スリーファイブ」をくれと言ったのだ。
如他曾吹制发卖过“■■■”——这是一种劣质玻璃做的儿童玩具，呈喇叭形或葫芦形，儿童把类似瓶口的一头含入嘴中，一呼一吸地吹气，因那容器的底部很薄，所以能随气流的冲击“■■■”作声；	///それは“■■■”といって、悪質のガラスで作ったラップ型またはひょうたん型の子供の玩具である。瓶の口のほうを、口で吹いたり吸ったりすると、底が非常に薄いのと、ほこぼこ音を出す。
当然，这种玩具很容易吹破，对儿童的呼吸道有害无利，弄不好还会割破儿童的手，所以早已被淘汰。	こんな玩具はこわれやすいのであぶない。悪くすると手にも怪我をする。だからとくに作らなくなっていく。
到了新社会，他们生活安定、温饱有靠，所以对共产党、对社会主义，是感激的、满意的；	新しい社会になって、生活が安定し、衣食の心配をすることもなくなったので、彼らは共産党、社会主義に感謝し、満足している。
不过相对来说，他们又居于城市居民中物质、精神两方面都较匮乏的层次，所以他们一般也绝无晶莹、敏锐的政治情绪。	だが、市民の中では、物質的にも精神的にも、低い層にあるので、政治のことで興奮することはけつてなく、またその鋭さもない。
彼时卢宝桑已经独喝了两瓶啤酒，两杯白酒，早已觉得冷盘下酒不够滋味，所以四盘热菜刚放定，他便一筷子戳进首先相中的茄汁肉片，	そのころ、盧宝桑はすでに、一人でビールを二本もあけ、焼酎も二杯ほど飲んでいたので、前菜だけではもうもの足りなかった。料理四皿が卓上に並べられたと見ると、まず肉のケチャップ炒めにねらいを定め、さつと箸をおろした。
///由于情报站党员一贯少，所以向来是同其它科室的党员合租一个支部，	///情報室にはこれまであまり党員がいなかった。そのため党支部は他の科と一緒にだった。
反正我凭知识吃饭，用不着为什么人折腰，所以清高、孤傲；	つまり、自分の知識に頼ってやっているんだから、人にべこべこすることはない、と思っているんじゃないですか。だから、気位が高いし、尊大なのでしょう。
他感受到了，所以他决心矫正自己性格上的畸态，然而，难。	彼はそれを感じとった。だからこの病的なものを取り除け！と決心したのだ。だが、なんと難しいことだろう。
那是荀磊和冯婉姝去前，冯婉姝利用录音机的电脑设备搞的定时选曲，此刻到时应验了，所以声乐大作。	二人が出かける前に、馮婉姝がテーブルレコーダーにあらかじめセットしておいた曲だ。手を打って喜んでいる馮婉姝の声添聞こえてきた。
不过另外两间在东头一在西头，不仅比当中的三间较为低矮回缩，而且由于已被东西厢房部分遮挡，所以采光也较差劲，这两间较小较暗的房屋叫“耳房”；	ただし、あとの二部屋は、東と西の端に分かれ、中の三部屋よりも低く、やや奥へ引っこんでいる。しかもその一部は東廂房と西廂房のかげになって、目当たりもよくない。小さくて暗いこの二つの部屋を「耳房」という。
南头那间住着一对年轻的夫妇，他们都是工厂的工人，这天上早班去了，所以暂且锁着屋门。	南よりの一室には若い夫婦が住んでいる。二人は工場に働いており、この日も朝から出勤し、ドアには鍵がかかっている。
///她因现在独身一人，不愿为生气做饭浪费光阴精力，所以时常就在单位食堂就餐，在医务室中就宿，她在这院里的那间西屋，经常是“铁将军”把门；	いまは独身なので、ご飯の支度に時間をかける気も起こらず、たいいてい勤め先の食堂ですませ、医務室に泊まっているという。だから、彼女の部屋は、いつも錠がおろしてある。
她既是新近迁来，又不常回家，所以院里的人们对她几乎都不认识，唯独号称“见面熟”的詹丽颖，不仅当人家回家时毫不客气地跑去串门，更几次把人家生拉硬拽到自己家中作客，结果在詹丽颖的主观意识上，她与慕樱已堪称“一见如故”。	引っ越してまもないうちに、あまり帰ってこないのだから、院内の人たちは、ほとんど彼女を知らない。ただ一人、自称「誰とでもすぐ打ちとける」詹麗穎だけが、彼女が帰ってきたときに遠慮なくおしかけ、自分の家へも何度かむりやりひっぱりこんだ。詹麗穎はもう慕櫻とは「気安い仲」だと思こんでいる。
她微笑着告诉蕊蕊：“英国特威你和铁尔雷尔编的世界邮票目录，美国斯克托编的中国邮票目录，港版杨乃强编的中华人民共和国邮票图鉴，我都有，所以知道一点。	「イギリスのトゥウェールとテルレルの世界切手カタログと、アメリカの『スコット』の中国切手カタログ、それから楊乃強の編集した中華人民共和國切手図鑑のホンコン版も持っていますわ。だから少しわかるんです」
由于韩一潭夫妇那住房的位置，位于这个四合院的“死角”，且又有一道短墙将他们的居住区与其余部分隔开，加上他们生性不喜交际，所以尽管他们一结婚就住进了这个小院，却始终未与院里其他住户打成一片。一九八二年年初，住里院北屋的张奇林晚饭后翻阅《光明日报》时，看到一篇宣扬优秀编辑的文章。看来绝不是说谎，他感到他在“黑暗王国”中看到了“一线光明”，所以毅然投奔韩一潭来了。	韓一潭夫婦の家の位置しているところから、四合院の「死角」にあり、しかも塀で他と区切られ、そのうえ、夫婦とも交際嫌いなものだから、結婚当時からここに住みついても、院内の他の家とはおよそ縁遠い。一九八二年のはじめごろ、張奇林が夕食後、『光明日報』を見ていると、優秀な編集者を称賛した記事のついでに、ウソとも思えなかった。とにかく彼は暗闇の中にひと筋の光明を見出したような思いで、意を決してやってきた。

中国語原文	日本語訳文
下了火车，他先找到编辑部，传达室告诉他编辑部的人这天都外出听报告去了——这也是事实；他便要求传达室的人告诉他韩一潭的家庭地址，传达室的人犹豫了好久，经不住他一再恳求，最后告诉了他， 所以 他现在才好不容易地找来了…… “……我们屋子很小，而且我们也不留人住宿， 所以 ，你今晚还是另找地方去住吧……”	//駅から編集部まで直行したが、みんな講演会に出かけたという。そこでこの住所を教えてくださいませんか？と必死になって食いさがつたもの だから 、受付の人もついに根負けして教えてくれた、というわけである。 「……わたしの家は狭いし、人を泊めるつもりはありません。今晚はほかに泊まるどころを見つかるんですね。……」
由于这场长达十年的动乱扭转，切断了大量过去正在发展中的事态， 所以 ，当动乱过去，人们在“拨乱反正”的过程中接续以往的线索时，往往不得不把这十年暂时当作一个空白，	十年の長きにわたった動乱によって、いきなり中断されてしまったのだ。そして、動乱がおさまり、混乱收拾のなかで、切れた糸口をつなごうとすると、この十年間を一時は空白にもどさなければならなくなる。
十六岁的姚向东自然绝不会知道，也不会探究鼓楼前大街上饭馆的盛衰增减，但是，由于他感到饿了， 所以 ，当他无目的地从街南朝街北走去时，他的嗅觉却有意识地捕捉着从那些饭馆中逸出的气息。 家里穷哇，买不起鱼，却又不愿失去“年年有余”的吉兆， 所以 就用了那么个法子。	十六歳の姚向東には、この大通りにある飲食店の盛衰など知るはずがなく、また知ろうともしないだろう。ただ腹がへったので、南から北へと足にまかせて歩いているうちに、そうした店からたどってくる匂いをいち早く嗅ぎとったぐらいなものだ。 暮らしにも困るほどだったので魚を食べるなど思いもよらない。 それで 形なりとも「年々余り有り」にあやかろうとしたのだ。
“雨来散”？对！当年的“荷花市场”逢上下雨，自然散摊， 所以 确有“雨来散”的俗称。	「雨来散」？ああ、そうだった。雨がやって来るとみんな自然に散ってしまうので、「蓮花市」は俗に「雨来散」と呼ばれていたわけ。
足足过了三个月，经过有关部门的仔细调查，才作出了最后的判断：并无海京生烈士其人，这位海阿姨是个骗子。自么办呢？诉诸法律，以示儆戒？还是批评教育，以观后效？研究的结果，是认为这位海阿姨除了满足自身的虚荣心，似乎并无其他企图，而且她的种种表现，也并未造成什么不良后果——倒是倘若当众揭发出她来，反会使群众（特别是中小學生）思想混乱， 所以 ，最后便决定将此事“静悄悄地解决”。	まる三カ月かけて関係部門が仔細に調査した結果、ようやく最終的な結論を出した。海京生という烈士はどこにもいないし、その母親というのはベテランだ。ではどうするか。法律に訴えるか、それとも二度とそんなことをしてはならないと訓戒するだけにどめるか。いろいろと検討した末、彼女はただ自分の虚栄心を満たしただけで、べつに下心があるわけではないようだ、また、そうした行為から良くない結果が生じたわけでもないし、表ざたにして摘発すると、大衆（とりわけ小学生や中学生）のあいだで混乱をひき起こす恐れもある、 だから 「内密に片づけたほうがいい」ということになった。
海西宾原是花木组的，可是小卖部那天当班的售货员脸上正发“青春豆”，公园领导便临时把五官端正、白净斯文的海西宾换到了柜台里头——领导估计江青至多不过是从小卖部门前过一过，不会去买东西， 所以 觉得柜台里头安排个俊俏的小伙子就行；	海西賓はもともと植木組だった。だがその日、売店の当番に当たっていた店員の顔がにきびだらけだったので、目鼻立ちの整った色白の彼がそこへ臨時にまわされた。江青が来たところで、物を買わずに気づかいはないから、カウンターのところに容姿端麗な若者を一人立たせておけばいいと思ったのだ。
海西宾虽然被调离了公园，那公园领导却常以江青同海西宾的交谈为例，来说明“中央首长对青年园林工人的关怀与教育”， 所以 传到海老太太耳中后，便不免引以为荣，向胡爷爷等“老人会”的成员炫耀，便是那时期的常课。	彼は公園を離れたものの、その責任者は、「中央のお偉力は公園で働く若い者にたいへん心を配っている」として、よくそのときの江青と彼との話をひきあいに出した。海おばあさんはそれを耳にしたので、そのころ、おじいさんや「老人クラブ」の他の人たちにも得意になってしゃべったのだった。
她目前尚未向严厉的父母公开她的爱情， 所以 他们晚上还不能从容相会，而海西宾也没还作出把她带来见奶奶的决定。 “大爷，刚才来的是出版社的编辑，关系着荀磊的事业， 所以 我们多说了会儿、……”	彼女の親はうるさい。その親にまだうちあけていないので、二人は夜会うわけにいかない。海西賓にしても、彼女をおばあさんに会わせる心づもりがまだできていない。 「おじいさん。さっき出版社の編集の方が見えていたんです。磊さんのお仕事についてのことなので、ちょっと話していたんです……」
如今的鼓楼西边，还有一条“旧鼓楼大街”， 所以 要知道元代齐政楼的位置，并不困难。	いまの鼓楼の西側には、まだ「古鼓楼大街」があるので、元代のころの齊政楼の位置を知るのは、さほど難しくないだろう。
高血压上来了，加上你那个哮喘的根子没断， 所以 头晕、胸闷。	「血圧が上がって、それに持病の喘息が治りきっていないから、めまいがし、息苦しくなったんだな。……」
张秀藻家的任何一个计时器却都是必定精确的， 所以 ，荀磊见到张秀藻，不由得首先说了那么两句话。	張秀藻の家はどの時計もみな正確だ。 だから 張秀藻を見ると、ついそう聞いたのだ。